

君もノーベル賞候補だ!

発明クラブに入ろう

生涯学習課 ☎66♦1222



発明クラブとは

蒲郡少年少女発明クラブは、一昨年7月にスタートしました。クラブ設立の趣旨は「科学に関心をもつ子どもが、楽しみながらものづくりに取り組み体験活動の場を作ること」です。

発明クラブは全国に202団体あり、9千人以上のクラブ員が活動を楽しくしています。クラブの母体は明治37年に創立された「工業所有権保護協会」で、昭和22年に社団法人発明協会に改称され現在に至っています。



▶ここはこうした方がいいよ

発明クラブの活動

昨年度は、ペットボトルを使った工作、ロープワーク（ロープのいろいろな縛り方）、竹とんぼ作り、発光ダイオードを使ったタリスマスツリーなどを作りました。今年度は、立体紙細工、伸縮自在の手作り拡大コピー機、ピンホールカメラを作り、天文観察会も開催しました。

5月に開いた発明クラブでは、新しい会員（4年生5人、5年生2人）を迎え、立体折り紙に挑戦しました。6月の発明クラブは「機械の動く仕組みを科学する」というテーマで、エンジンの力はどう伝わるか、運動の方向を変える仕組みはどうなっているかなどを勉強しました。7月の発明クラブは



前回の応用編で、薄い角材を4本使って伸縮自在の手作り拡大コピー機を作りました。

▶インスタントカメラ専用のフィルムを入れたピンホールカメラで撮影



去年の夏も暑かったですが、発明クラブは8月に2回開催しました。先生はGCSL登録講師の水藤直毅さん。テーマは「ピンホール・カメラを作ろう」でした。裏側を真っ黒にぬった工作用紙でカメラを作り、光の進路、光が像を結ぶ仕組みなどを勉強しました。2回目は、インスタント・カメラ専用のフィルムを装てんしたピンホール・カメラで実際に撮影をしました。